

下関市教育委員会 7月定例会 資料

令和3年7月28日(水) 9:30～

教育センター 3階中研修室

【目次】

○日程表…………… P 1

[議案]

第40号 教育功労者表彰(篤行表彰)について…………… P 2

第41号 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に
関する点検評価報告書について…………… 別冊①

第42号 令和4年度使用下関市立中学校教科用図書
の採択について…………… 別冊② P 1

第43号 下関市立考古博物館協議会委員の委嘱について…………… P 3

第44号 財産の取得について…………… 別冊② P 3

第45号 下関市菊川ふれあい会館運営審議会委員の委嘱について…………… P 5

第46号 豊田ホテルの里ミュージアム運営協議会委員
の委嘱について…………… P 8

第47号 豊浦四町公民館運営審議会委員の委嘱について…………… P 11

[報告事項]

○令和3年度下関市学校運営協議会委員の委嘱又は任命について…………… P 14

○川中中学校敷地外においての自動車損傷事故について…………… P 21

○檜崎小学校敷地内においての自動車損傷事故について…………… P 25

○下関市学校給食調理等業務委託事業に係る優先交渉権者の
決定について…………… P 28

○令和3年度発掘速報展「掘ったほ!下関2021」の
開催について…………… P 31

- 「#のすたる関門灯台 Instagram フォトコンテスト」の
開催について…………… P 33
- 国指定天然記念物「川棚のクスの森」関連倒木の発生について…………… P 34

教育委員会定例会 日程表

令和3年7月28日(水) 9時30分から

下関市教育センター 3階 中研修室

開会

署名委員指名

教育長報告

議事等

日程1

【議案】

第40号	教育功労者表彰(篤行表彰)について	教育政策課
第41号	教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検評価報告書について	教育政策課
第42号	令和4年度使用下関市立中学校教科用図書採択について	教育研修課
第43号	下関市立考古博物館協議会委員の委嘱について	文化財保護課
第44号	財産の取得について	中央図書館
第45号	下関市菊川ふれあい会館運営審議会委員の委嘱について	菊川教育支所
第46号	豊田ホテルの里ミュージアム運営協議会委員の委嘱について	豊田教育支所
第47号	豊浦四町公民館運営審議会委員の委嘱について	豊北教育支所

日程2

【報告事項】

令和3年度下関市学校運営協議会委員の委嘱又は任命について	教育研修課
川中中学校敷地外においての自動車損傷事故について	学校支援課
檜崎小学校敷地内においての自動車損傷事故について	学校支援課
下関市学校給食調理等業務委託事業に係る優先交渉権者の決定について	学校保健給食課
令和3年度発掘速報展「掘ったほ!下関2021」の開催について	文化財保護課
「#のすたる関門灯台Instagramフォトコンテスト」の開催について	文化財保護課
国指定天然記念物「川棚のクスの森」関連倒木の発生について	豊浦教育支所

日程3

【その他】

■次回開催予定 令和3年8月25日(水)

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

閉会

下関市教育委員会
議案第40号

教育功労者表彰（篤行表彰）について

上記の議案を提出する。

令和3年7月28日

下関市教育委員会
教育長 児玉 典彦

教育功労者表彰（篤行表彰）について

下関市教育委員会表彰規則（平成17年教育委員会規則第4号）第7条の規定に基づき、教育功労者（篤行表彰）を下記のとおり決定し、表彰する。

記

氏名	表彰事由
山賀 路子	下関市立歴史博物館へ総額500,000円相当の資料を寄贈したことによる。

提案理由

下関市教育委員会表彰規則に基づき、教育功労表彰者として決定するため。

下関市立考古博物館協議会委員の委嘱について

上記の議案を提出する。

令和3年7月28日

下関市教育委員会
教育長 児玉 典彦

下関市立考古博物館協議会委員の委嘱について

下関市立考古博物館の設置等に関する条例（平成17年条例第122号）第11条の規定に基づき、下記候補者に下関市立考古博物館協議会委員を委嘱する。

記

候補者

区分	氏名	公職等	備考
学識経験者	わたなべ かずお 渡辺 一雄	元梅光学院大学副学長 下関市文化財保護審議会委員	再任
学識経験者	やまうち のりつぐ 山内 紀嗣	生駒ふるさとミュージアム館長	再任
学識経験者	たなか しんさく 田中 晋作	山口大学客員教授	再任
学識経験者	ふじまる しょうはちろう 藤丸 詔 八郎	北九州市立自然史歴史博物館名誉館員	再任
社会教育関係者	こんどう ようへい 近藤 洋平	社会福祉法人開成会監事 下関市文化協会副会長	再任
社会教育関係者	かわなみ かやこ 河波 茅子	田中絹代メモリアル協会事務局長 田中絹代記念館サポーター	再任
家庭教育の向上に資する活動を行う者	きはら とよみ 木原 豊美	社会福祉法人きずな理事 金子みすゞ研究者	再任
学校教育関係者	ふじもと たけあき 富士本 武明	下関市立王喜小学校校長 下関市教育研究会小学校社会部部长	新任
学校教育関係者	おと たけし 小戸 毅	下関市立東部中学校校長 下関市教育研究会中学校社会部部长	新任

任期：令和3年（2021年）8月1日から令和5年（2023年）7月31日まで

提案理由

任期満了となる下関市立考古博物館協議会委員を新たに委嘱するもの。

(参考)

○博物館法（昭和26年12月1日法律第285号）抜粋

第20条 公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第21条 博物館協議会の委員は、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。

○下関市立考古博物館の設置等に関する条例

（平成17年2月13日条例第122号）抜粋

（考古博物館協議会）

第11条 法第20条の規定により、考古博物館に下関市立考古博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会は、委員10人以内をもって組織する。

3 協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから委員会が委嘱する。

4 協議会の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 協議会の組織及び運営に関して必要な事項は、委員会が定める。

下関市菊川ふれあい会館運営審議会委員の委嘱について

上記の議案を提出する。

令和3年7月28日

下関市教育委員会
教育長 児玉 典彦

下関市菊川ふれあい会館運営審議会委員の委嘱について

下関市菊川ふれあい会館の設置等に関する条例（平成17年条例第113号）第19条の規定により、下記のとおり下関市菊川ふれあい会館運営審議会委員の委嘱をする。

記

1. 委員 10名 別紙名簿のとおり
2. 任期 令和3年8月1日から令和5年7月31日まで

提案理由

下関市菊川ふれあい会館運営審議会委員の任期満了に伴い、委員を委嘱するもの。

下関市菊川ふれあい会館運営審議会委員(案)

〔任期:令和3年8月1日～令和5年7月31日〕

No.	氏 名	性別	役 職 名	備考
1	石川 彰	男	下関市立菊川中学校 校長	再任
2	森本 修司	男	下関市菊川自治会連合会 副会長	再任
3	中野 健二郎	男	菊川町PTA連合会 会長	再任
4	林 幸子	女	菊川町婦人会 会長	再任
5	徳吉 眞次	男	下関市社会教育委員	再任
6	勝野 光枝	女	下関市社会教育委員	再任
7	船瀬 保美	女	下関市社会教育委員	再任
8	松井 茂喜	男	菊川地区民生児童委員協議会 会長	再任
9	重枝 良明	男	菊川文化協会 会長	再任
10	宮崎 満恵	女	下関市菊川ふれあい会館 定期使用団体代表	新任

議案参考資料

下関市菊川ふれあい会館の設置等に関する条例（平成17年2月13日）【抜粋】

第19条 会館の適正かつ効率的な管理運営を図るため、下関市菊川ふれあい会館運営審議会（以下「審議会」という。）を置く。

- 2 審議会は、委員14人以内をもって組織する。
- 3 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 委員は、再任されることができる。
- 5 前各項に掲げるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

下関市菊川ふれあい会館運営審議会規則（平成17年2月13日）【抜粋】

（審議事項）

第2条 審議会は、教育委員会（以下「委員会」という。）の諮問に応じ、下関市菊川ふれあい会館（以下「会館」という。）の適性かつ効率的な管理運営を図ることを目的とし、次に掲げる事項を調査、審議する。

- (1) 会館の管理運営に関すること。
- (2) 会館の利用計画に関すること。
- (3) その他委員会が必要と認めた事項。

（組織）

第3条 審議会は、委員14人以内をもって組織し、委員会が委嘱する。

- 2 委員の任期は2年とする。ただし、委員に欠員が生じた場合の補充委員の任期は、前任者の残任期間とする。

豊田ホテルの里ミュージアム運営協議会委員の委嘱について

上記の議案を提出する。

令和3年7月28日

下関市教育委員会
教育長 児玉 典彦

豊田ホテルの里ミュージアム運営協議会委員の委嘱について

下関市立自然史博物館の設置等に関する条例（平成17年条例第123号）第16条の規定に基づき、豊田ホテルの里ミュージアム運営協議会委員を下記のとおり委嘱する。

記

- 1 運営協議会委員候補者名簿
別紙のとおり
- 2 任期
令和3年8月1日から令和5年7月31日まで
- 3 提案理由
任期満了に伴い、豊田ホテルの里ミュージアム運営協議会委員を新たに委嘱するもの。

参考条文 (抜粋)

○下関市立自然史博物館の設置等に関する条例

(平成 17 年 2 月 13 日条例第 123 号)

(運営協議会の設置)

第 16 条 ミュージアムに豊田ホテルの里ミュージアム運営協議会(以下「運営協議会」という。)を置く。

- 2 運営協議会の委員の定数は、10 人以内とする。
- 3 運営協議会の委員の任期は、2 年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

○下関市立自然史博物館の設置等に関する条例施行規則

(平成 17 年 2 月 13 日規則第 38 号)

(運営協議会)

第 17 条 条例第 16 条の規定による豊田ホテルの里ミュージアム運営協議会(以下「運営協議会」という。)の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学職経験を有する者等のうちから委員会が任命する。

- 2 運営協議会に会長及び副会長を置き、委員の互選によってこれを定める。
- 3 会長は、運営協議会の会務を総理し、運営協議会を代表する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(運営協議会の会議)

第 18 条 運営協議会の会議(以下「会議」という。)は、会長が招集し、その議長となる。

- 2 会議は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。
- 3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数の場合は議長の決するところによる。

(運営協議会の庶務)

第 19 条 運営協議会の庶務は、豊田教育支所において処理する。

豊田ホテルの里ミュージアム運営協議会委員 候補者名簿

(任期:令和3年8月1日から令和5年7月31日まで)

区分	No.	氏名	現職・公職等	備考
学校教育関係者	1	鬼崎 聖	下関市立西市小学校校長	再任
	2	黒瀬 泰樹	下関市立豊田中学校校長	再任
社会教育関係者	3	水野 捷子	下関市社会教育委員	再任
	4	山下 景子	豊田地区子ども会連合会副会長	再任
	5	栗田 沙織	豊田下小学校区協育ネットコーディネーター	新任
学識経験者等	6	田中 浩	山口県立山口博物館学芸員 (専門:昆虫・動物)	再任
	7	松田 真紀子	自然観察指導員 (日本環境保護協会)	再任
	8	伊藤 修二	豊田地区まちづくり協議会会長	再任
	9	日野原 伸也	豊田ホテル研究会会長	再任
	10	坂本 富子	ホテルの里とよた友の会	再任

豊浦四町公民館運営審議会委員の委嘱について

上記の議案を提出する。

令和3年7月28日

下関市教育委員会
教育長 児玉 典彦

豊浦四町公民館運営審議会委員の委嘱について

社会教育法（昭和24年法律第207号）第30条及び下関市立公民館の設置等に関する条例（平成17年条例第109号）第4条の規定に基づき、豊浦四町公民館運営審議会委員を次のとおり委嘱する。

記

- 1 豊浦四町公民館運営審議会委員 委嘱者
別紙のとおり（14名）
- 2 委嘱期間
令和3年8月1日から令和5年7月31日まで

提案理由

任期満了に伴い、新たな委員を委嘱するもの。

豊浦四町公民館運営審議会委員名簿【任期:令和3年8月1日～令和5年7月31日】

	氏名	性別	地区	職業・役職	区分	
1	林 みゆき	女	菊川町	菊川文化協会役員	団体	再
2	船瀬 保美	女	菊川町	社会教育委員	社会教育	再
3	鬼崎 聖	男	豊田町	西市小学校長	学校教育	再
4	水野 捷子	女	豊田町	社会教育委員	社会教育	再
5	川本 弘子	女	豊田町	佳和会代表者	団体	再
6	山本 光治	男	豊浦町	宇賀ふれあいセンター 運営委員長	社会教育	新
7	藤村 高史	男	豊浦町	小串公民館運営委員長	社会教育	再
8	村上 勝美	男	豊浦町	川棚地区公民館運営委員会委員長	社会教育	新
9	古吉 一雄	男	豊浦町	黒井公民館運営委員長	社会教育	再
10	東原 実	男	豊浦町	室津公民館運営協議会長	社会教育	再
11	釣井 恭平	男	豊北町	田耕地区スポーツ振興会会長	社会教育	再
12	佐々木 猛	男	豊北町	豊北文化協会会長	団体	再
13	眞鍋 栄子	女	豊北町	子育てサークルぶらんこ会長	家庭教育	再
14	田村 淳	男	豊北町	下関市人権擁護委員	団体	再

豊浦四町公民館運営審議会委員名簿(任期満了により退任)

	氏名	性別	地区	区分
1	野村 幹夫	男	豊浦町	社会教育
2	森野 清和	男	豊浦町	社会教育

報 告 事 項
令 和 3 年 7 月 2 8 日
教 育 研 修 課

下関市学校運営協議会委員の委嘱又は任命について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(法律第162号)第47条の5第2項及び下関市学校運営協議会規則第4条の規定により、下関市学校運営協議会委員を下記のとおり委嘱又は任命しましたので、報告いたします。

記

1	定 数	15人以内(学校の統廃合に係る特例:20人以内)
2	任 期	任命の日から令和4年3月31日まで
3	委員数	小学校43校 606人
		中学校22校 316人
		下関商業高等学校 15人
	計	937人

下関市学校運営協議会規則抜粋

(委員)

第4条 協議会の委員は、次の各号に掲げる者のうちから、教育委員会が委嘱又は任命する。

- (1) 当該対象校の通学区域内の住民
- (2) 当該対象校に在籍する児童又は生徒の保護者
- (3) 対象校の運営に資する活動を行う者
- (4) 当該対象校の校長
- (5) 当該対象校の教職員
- (6) 学識経験者
- (7) 前各号に掲げる者のほか教育委員会が必要と認める者

以上

下関市学校運営協議会委員名簿 (任期:令和3年4月1日~令和4年3月31日)

<小学校>

1. 養治小		
	委員名	
1	岩崎 仁	
2	福住 直樹	
3	梶原 英生	
4	石田 一	
5	森脇 龍也	
6	米村 薫	
7	寺尾 文彦	
8	品川 和子	
9	吉川 由美子	
10	高尾 彰子	
11	和田 香	
12	藤川 信利	
13	瀧口 稔	
14	正木 資介	
15		

2. 文関小		
	委員名	
1	堂野 昭夫	
2	勝本 竜一	
3	吉村 達邦	
4	木本 邦彦	
5	宮田 吉貴	
6	小山 敦美	
7	石川 忠	
8	河村 和秀	
9	久保 隆司	
10	内藤 あづさ	
11	坂下 芳江	
12	板倉 豊	
13	田中 祐二	
14	白尾 徳海	
15	浅田 孝之	

3. 名池小		
	委員名	
1	城崎 幸公	
2	辻野 八弘	
3	藤井 也造	
4	栗原 敏子	
5	林 真一郎	
6	桃崎 恭子	
7	桃崎 知子	
8	大浦 尚子	
9	馬場 教義	
10	岩本 健志	
11	松永 浩志	
12	安達 佳美	
13	上野 美枝	
14	三井 竜彦	
15	金子 孝司	

4. 王江小		
	委員名	
1	林 真一郎	
2	阿部 真也	
3	松本 安司	
4	野村 四郎	
5	小賀 幸子	
6	河村 和子	
7	安田 和夫	
8	河村 憲一郎	
9	下瀬 隆宏	
10	増田 明弘	
11	水野 修	
12	中倉 宗利	
13	藤永 浩二	
14	本田 理一郎	
15		

5. 関西小		
	委員名	
1	手島 奈美	
2	宇都宮 弘隆	
3	仁田 義成	
4	池西 竜夫	
5	小田 哲也	
6	和田 宗久	
7	萩岡 朱美	
8	八木 あや	
9	曾根 弘子	
10	安藤 牧恵	
11	柴田 千明	
12	林 康弘	
13	植松 和真	
14	平野 晶子	
15		

6. 桜山小		
	委員名	
1	梶畑 勝信	
2	山崎 政男	
3	梅田 亜紀子	
4	米田 優子	
5	前田 周作	
6	河野 美香	
7	有島 靖久	
8	前田 亜樹	
9	有瀬 義治	
10	中野 竜二	
11	三浦 晃平	
12	小西 哲也	
13	和田 宗久	
14	山村 義弘	
15	菊川 和彦	

7. 向山小		
	委員名	
1	板谷 正	
2	田村 幸彦	
3	森岡 英一郎	
4	田中 正男	
5	桑原 勝登志	
6	藤田 敏明	
7	安部田 純子	
8	木田 喜明	
9	作間 光子	
10	沼田 光信	
11	松嶋 涉	
12	香月 正登	
13	春若 美智子	
14	平井 達也	
15		

8. 生野小		
	委員名	
1	杉本 成弘	
2	福田 拓之	
3	天野 かおり	
4	内藤 喜久子	
5	川口 哲郎	
6	宮部 優	
7	村上 智章	
8	田部 宗紀	
9	三谷 禎	
10	藤岡 俊秀	
11		
12		
13		
14		
15		

9. 本村小		
	委員名	
1	高橋 健太郎	
2	植田 徳	
3	田辺 よし子	
4	松本 義子	
5	小山 智子	
6	志満 真知子	
7	登根 正之助	
8	登根 和孝	
9	牛尾 三雄	
10	山本 静香	
11	松本 和浩	
12	武田 るり子	
13	豊島 勝	
14	高木 陽子	
15	磯部 リ子	

10. 西山小		
委員名		
1	柴田 宜夫	
2	二見 勝敬	
3	田中 二三子	
4	小熊坂 孝司	
5	高倉 春美	
6	島戸 信生	
7	瓜生 基輝	
8	内田 賢太郎	
9	江藤 和代	
10	森田 紀子	
11	上岡 亜紀夫	
12	永野 健治	
13	植田 和公	
14	江本 真奈美	
15	奥谷 恵子	

11. 江浦小		
委員名		
1	鼻地 浩	
2	吉岡 輝生	
3	林田 光弘	
4	濱崎 栄治	
5	河野 尚子	
6	三浦 京子	
7	川上 水晶	
8	廣田 一二三	
9	江藤 文彦	
10	松井 真由美	
11	金子 聡	
12	清永 直志	
13	石崎 輝彦	
14	内田 正則	
15	多賀谷 亮	

12. 角倉小		
委員名		
1	谷口 清	
2	武内 初男	
3	鬼頭 征一	
4	松崎 修身	
5	酒井 能具	
6	田中 博信	
7	中原 菊江	
8	太刀山 逸男	
9	奥野 俊昭	
10	野村 拓義	
11	石田 一美	
12	森 貴美	
13	波多野 崇	
14		
15		

13. 向井小		
委員名		
1	賀川 恵市	
2	高橋 勉	
3	下川原 靖雄	
4	中野 裕道	
5	松尾 悟	
6	脇坂 友	
7	江夏 勝利	
8	河野 美貴	
9	沖津 知子	
10	坂野 悦代	
11	峰岡 實	
12	田中 ゆうこ	
13	伊藤 直弥	
14		
15		

14. 小月小		
委員名		
1	小釜 勇司	
2	島本 啓之	
3	矢野 郷士	
4	石田 数幸	
5	大木 伸子	
6	青野 良子	
7	徳富 誠	
8	藤田 友春	
9	角谷 咲子	
10	高谷 靖枝	
11	井上 玲子	
12	亀谷 かおる	
13	若松 賢一	
14	重村 明	
15	重村 知彦	

15. 清末小		
委員名		
1	太田 英弘	
2	鶴田 将之	
3	大倉 くによ	
4	秀平 智美	
5	岡藤 秀子	
6	村上 誠二	
7	川上 泰代	
8	佐方 美奈子	
9	森重 直幸	
10	福田 拓子	
11	岩崎 久美子	
12	山西 雅美	
13	林 健広	
14	永田 翔	
15	日野 真由美	

16. 王司小		
委員名		
1	藤井 勲	
2	松崎 澄子	
3	来島 弘幸	
4	高本 晶光	
5	笹野 健治	
6	矢儀 伸治	
7	松本 洋子	
8	村井 辰之	
9	縄田 牧子	
10	河内 正義	
11	佐方 美奈子	
12	江木 俊夫	
13	伊達 美希	
14	水野 祐也	
15	松本 晶代	

17. 豊浦小		
委員名		
1	緒方 聖雄	
2	池田 大造	
3	上野 幸	
4	生田 都	
5	安岡 克昌	
6	松村 通世	
7	植村 守	
8	江本 於三	夢
9	森 健二	
10	原 虎男	
11	富田 忠夫	
12	古川 哲也	
13	岡田 晴雄	
14	中野 由美	
15	原田 睦子	

18. 勝山小		
委員名		
1	井上 勝一郎	
2	伊原 宗信	
3	肥塚 泰生	
4	本山 司	
5	室 道義	
6	内藤 亜由美	
7	鈴川 衣子	
8	徳丸 裕晃	
9	大石 晶男	
10	奥野 英子	
11		
12		
13		
14		
15		

19. 川中小		
委員名		
1	板倉 信明	
2	松野 裕司	
3	山野 克英	
4	村田 千賀子	
5	宇田 美代子	
6	森本 茂樹	
7	山田 裕昭	
8	松本 寿子	
9	藤本 佳子	
10	藤田 淳史	
11	尾山 善昭	
12	西村 毅	
13	中村 勉	
14	遠藤 優子	
15		

20. 安岡小		
委員名		
1	西山 秀秋	
2	古谷 好敏	
3	野村 雅美	
4	村岡 正康	
5	石川 勝則	
6	二見 信枝	
7	梶山 由紀	江
8	稲崎 順一	
9	宮野 直樹	
10	綿貫 義男	
11	松尾 明一	
12	織田 学	
13	吉村 剛典	
14		
15		

21. 吉見小		
委員名		
1	鶴巻 和樹	
2	荒木 晶	
3	藤堂 佳良	
4	森永 美智子	
5	白石 篤史	
6	福永 佳佳	
7	濱崎 伸浩	
8	長岡 律行	
9	植村 義夫	
10	山本 美津子	
11	山本 幸示	
12	新 晃真	
13	國友 孝温	
14	内藤 通	
15	山根 卓	

22. 吉母小		
	委員名	
1	久保田 達也	
2	清田 幸男	
3	橋本 京子	
4	村永 逸美	
5	久保田 きみ子	
6	山口 知子	
7	岡村 明子	
8	嶋岡 眞理子	
9	弘中 眞寿美	
10	小野 公裕	
11	村井 慎一	
12	濱西 正義	
13	伊藤 勝美	
14	栗林 和弘	
15		

23. 蓋井小		
	委員名	
1	西 昭男	
2	山根 伸俊	
3	大空 正俊	
4	中村 求	
5	大空 富士枝	
6	周防 孝男	
7	松本 眞由美	
8	松本 武範	
9	叶屋 良太	
10	藤村 圭亮	
11	村田 峻	
12	中村 明日香	
13		
14		
15		

24. 吉田小		
	委員名	
1	小林 頼謙	
2	打田 敦志	
3	城戸 涉	
4	下本 一公平	
5	清水 洋平	
6	田中 秀雄	
7	西野 義弘	
8	長谷川 勝巳	
9	岡崎 芳樹	
10	藤田 英明	
11	藤永 勝成	
12	三原 達郎	
13	蘭香 眞志雄	
14	平松 繁泰	
15	鈴木 まさ子	

25. 王喜小		
	委員名	
1	成瀬 宏吉	
2	平原 栄一	
3	藤澤 慎悟	
4	村田 忠晴	
5	江村 卓三	
6	福田 幸弘	
7	野上 晋介	
8	藤井 順子	
9	安村 結香	
10	打田 敦志	
11	大末 泰史	
12	太田 いくゑ	
13	濱本 優一	
14	富士本 武明	
15	小松 由美	

26. 内日小		
	委員名	
1	下田 賢吾	
2	福田 正美	
3	亀地 眞理子	
4	三好 浩子	
5	寺戸 由美子	
6	中野 洋子	
7	小林 信善	
8	沖本 敏也	
9	大羽 香矢子	
10	榎野 克己	
11	益村 敏和	
12	河村 千夏	
13	鍵村 昌範	
14	戸田 宏純	
15		

27. 山の田小		
	委員名	
1	岸田 勤市	
2	門前 宏	
3	中尾 順吉	
4	香川 昌則	
5	藤岡 洋子	
6	大谷 昌之	
7	石井 今日子	
8	宝川 卓也	
9	稲富 佳明	
10	種吉 剛	
11	拜藤 隆	
12		
13		
14		
15		

28. 川中西小		
	委員名	
1	河島 信夫	
2	加藤 高広	
3	阪本 正春	
4	前山 由紀枝	
5	柴田 明子	
6	壇 圭子	
7	山本 香澄	
8	濱崎 典子	
9	山口 眞弓	
10	水津 健一	
11	片山 尚基	
12	河内 和男	
13	渡部 芳式	
14	内田 友貴	
15		

29. 垢田小		
	委員名	
1	中川原 眞治	
2	上邑 稔	
3	大塚 靖男	
4	村田 義則	
5	榎本 成樹	
6	加藤 高広	
7	森永 香	
8	小路 雅則	
9	常盤 美智穂	
10	山本 郁子	
11	神田 哲	
12	松田 和彦	
13	荒川 正一	
14		
15		

30. 長府小		
	委員名	
1	芦村 光輝	
2	鬼頭 辰生	
3	山本 桂子	
4	中野 一穂	
5	藤村 昭夫	
6	前田 彰子	
7	町田 陽輔	
8	瀧本 麻子	
9	濱上 圭右	
10	中手 雅子	
11	倉本 敦	
12	村上 秀夫	
13	亥川 竜太郎	
14	梅田 泰成	
15		

31. 一の宮小		
	委員名	
1	村崎 和子	
2	東原 稔	
3	吉田 幸雄	
4	鳴瀬 道生	
5	中川 浩一	
6	白石 洋一	
7	北村 美枝	
8	中嶋 瑞枝	
9	西田 由美	
10	三木 修治	
11	河村 志津香	
12	森 隆浩	
13	濱野 則之	
14	藏座 宏直	
15	横山 優次	

32. 熊野小		
	委員名	
1	中村 茂	
2	山田 信行	
3	柴田 日登美	
4	原本 光夫	
5	松永 章	
6	北村 正巳	
7	高松 秀生	
8	濱口 賢	
9	大村 孝司	
10	岡本 和男	
11	富山 達也	
12	小西 恵理	
13	竹本 智弘	
14	宇佐見 格知	
15	藤附 理恵子	

33. 豊東小		
	委員名	
1	森本 修司	
2	前東 直樹	
3	池本 勝	
4	田阪 喜久代	
5	藤井 信幸	
6	勝野 光枝	
7	榎田 里美	
8	徳吉 朗子	
9	岡村 信明	
10	大林 弘子	
11	河村 文英	
12	金嶋 敦浩	
13	竹中 修	
14	伊田 俊輔	
15	吉中 芳樹	

34. 岡枝小		
委員名		
1	岡村	則幸
2	重枝	良明
3	美輪	佳代子
4	沖村	裕史
5	中野	紀子
6	岡村	俊彦
7	山下	真奈美
8	徳賀	千賀子
9	中野	健二郎
10	松田	直也
11	宮原	美沙子
12	古谷	安里奈
13	末永	昌子
14	山田	恵子
15	中村	良二

35. 檜崎小		
委員名		
1	吉村	武志
2	吉村	和
3	林	幸子
4	中田	勝夫
5	河崎	久美子
6	友村	栄幸
7	北村	弘子
8	濱田	友子
9	伊達	徳享子
10	中澤	尚悟
11	山村	智美
12	三戸	敏哉
13	寺澤	
14		
15		

36. 西市小		
委員名		
1	伊藤	修二
2	井村	佳宣
3	藤本	貴司
4	山路	康正
5	西田	幸二
6	石田	正成
7	榎並	茂樹
8	山上	博明
9	伊藤	孝弘
10	下口	富美
11	福富	弘行
12	黒瀬	泰樹
13	吉中	素子
14	坂本	誠司
15	岡山	智恵
16	林	俊秀
17	坂本	富子
18	吉本	和憲
19		
20		

37. 豊田下小		
委員名		
1	福田	正志
2	田中	達雄
3	榎並	直
4	相原	英嗣
5	高崎	寛
6	重村	正憲
7	伊東	浩美
8	福富	孝恵
9	尾寺	香
10	吉村	源治
11	林	多恵子
12	中村	久実
13	村井	亮太
14	小川	良平
15	中島	智紗都

38. 室津小		
委員名		
1	東原	実
2	渡邊	茂好
3	福田	雅夫
4	中角	克志
5	渡辺	忠治
6	益田	雅和
7	河内	路暁
8	村岡	健二
9	根来	明子
10	森岡	真衣
11	西田	マキ
12	千々和	正則
13	中嶋	洋司
14	坂井	洋行
15	谷岡	義久

(注)
下関市学校運営協議会規則「附則2 学校の統廃合に係る特例」により、西市小は委員の定数を20人以内とする。

39. 誠意小		
委員名		
1	来見田	宏昭
2	栗原	健
3	惣田	寛之
4	小林	康和
5	古吉	一雄
6	日吉	二千延
7	森富	薫
8	石丸	鉄也
9	棟久	岳司
10	村上	卓
11	藤井	恵美
12	村岡	健二
13	中川	万里美
14		
15		

40. 川棚小		
委員名		
1	中川	一志
2	長谷	義人
3	飯田	俊幸
4	濱田	盛承
5	中村	隆宣
6	山根	美恵子
7	高橋	健
8	沖野	進
9	吉村	敦子
10	植野	壽子
11	金田	容子
12		
13		
14		
15		

41. 小串小		
委員名		
1	山本	勝正
2	藤村	高史
3	藤村	整市
4	木下	孝則
5	堀之内	慶子
6	新村	義昭
7	中西	芳美
8	谷	仁雄
9	平川	尚子
10	石原	嘉紀
11	平山	敏男
12	山崎	利幸
13	中島	邦治
14	片岡	優子
15	篠田	洋子

42. 宇賀小		
委員名		
1	藤本	正三
2	林	透
3	山本	光治
4	宮原	茂夫
5	野村	幹夫
6	上野	仁司
7	発田	茂男
8	中野	清子
9	木村	雅城
10	松尾	光子
11	西谷	縁
12	武居	祐一
13	塚本	純子
14	三好	恵子
15	藤田	ちずる

43. 豊北小		
委員名		
1	宅野	眞
2	白岡	勝典
3	西島	英敏
4	泉	一己
5	松久	安則
6	中村	信雄
7	佐々木	猛
8	豊岡	哲也
9	廣瀬	徹
10	山村	敏史
11	眞鍋	栄子
12	西村	透
13	村田	美佐
14	末永	香樹
15	岡	光子

<中学校>

1. 日新中		
委員名		
1	百留	一寿
2	眞弓	登志也
3	内藤	あづさ
4	勝本	竜一
5	山口	博司
6	豊島	正作
7	井上	桂
8	山本	千栄子
9	東原	弥生
10	森永	亮
11	今坂	雅志
12	白井	晶子
13	佐々木	伸二
14	藤野	貴一
15	山崎	安田美

2. 向洋中		
委員名		
1	海原	三勇
2	木内	浩雅
3	藤村	紀久正
4	有田	勝介
5	高浪	芳子
6	小河	和子
7	板谷	正
8	松田	俊昭
9	小島	幸子
10	荒木	夏理
11	中村	哲香
12	山本	哲之
13	沼田	光信
14	爲政	尚紀
15	川口	翔

3. 文洋中		
委員名		
1	楠	敏忠
2	有馬	貴志
3	河野	美香
4	小西	哲也
5	有島	靖久
6	川端	良惠
7	秋枝	由紀
8	舟木	文晃
9	中野	竜二
10	山崎	政樹
11	前田	亜千
12	柴田	明弘
13	山村	義弘
14	和田	宗久
15	山形	克樹

4. 名陵中		
委員名		
1	野村	泰三
2	磯部	達也
3	馬場	教義
4	伊藤	道彦
5	杉森	拓治
6	出来	甫
7	藤井	善一郎
8	吉谷	亜矢子
9	岩本	健志
10	下瀬	隆宏
11	村岡	真樹
12	原田	勝信
13		
14		
15		

5. 東部中		
委員名		
1	藤井	勲
2	矢野	郷士
3	早田	一雄
4	太田	英弘
5	丸原	恭弘
6	松崎	澄子
7	伊達	美希
8	向江	和幸
9	小釜	勇司
10	豊田	ひろみ
11	山村	沙織
12	小戸	毅
13	長安	保範
14	安永	朋広
15	柴田	友美

6. 長府中		
委員名		
1	緒方	聖雄
2	松永	英治
3	上野	幸子
4	生田	都
5	安岡	克昌
6	松村	通世
7	植村	守
8	江本	於三
9	原	虎男
10	森	健二
11	青木	光海
12	馬場	加奈子
13	本名	裕之
14	甲斐	博文
15	住田	美紀

7. 勝山中		
委員名		
1	村中	克好
2	池内	賢二
3	山崎	将幸
4	秋本	和道
5	田中	弘子
6	東原	稔
7	石川	美智枝
8	中村	明子
9	有賀	俊一
10	中河	一枝
11	窪岡	靖記
12	磯部	芳規
13	井上	博文
14	尾崎	健二
15	入江	航生

8. 川中中		
委員名		
1	吉永	貴文
2	岩永	逸郎
3	本多	馨
4	松原	守
5	村田	千賀子
6	片山	直之
7	松本	知子
8	小野田	久美子
9	島田	素子
10	金子	潤一郎
11	瀬下	信二
12	久原	慎二
13	林	久美子
14	伊勢崎	俊博
15	柴田	日登美

9. 安岡中		
委員名		
1	西山	秀秋
2	古谷	好敏
3	野村	雅美
4	村岡	正康
5	石川	勝則
6	二見	信枝
7	坂口	伸一
8	稲崎	順一
9	宮野	直樹
10	綿貫	義男
11	松尾	明一
12	織田	学典
13	吉村	剛
14		
15		

10. 吉見中		
委員名		
1	越智	良和
2	津守	達生
3	西本	健治郎
4	梅尾	俊行
5	濱崎	伸浩
6	森本	鉄夫
7	藤堂	佳良
8	原	俊枝
9	木原	智行
10	大空	正俊
11	弘中	隆之
12	濱西	正義
13	曲	真理子
14	香川	真貴子
15	井上	朋彦

11. 彦島中		
委員名		
1	平井	利明
2	奥野	俊昭
3	長	秀龍
4	朝原	嘉彦
5	鞍馬	志保
6	昇地	浩
7	酒井	能具
8	中野	裕道
9	濱田	眞佐枝
10	河野	尚子
11	八田	廣
12	川上	水晶
13	成重	明子
14	郷	誠
15	近藤	栄一

12. 玄洋中		
委員名		
1	二見	勝敬
2	植田	和公
3	柴田	宜夫
4	宮木	一弘
5	小山	智子
6	村上	勝昭
7	田中	二三子
8	久保	晃
9	登根	富美子
10	松本	和浩
11	奥谷	恵子
12	白神	健吾
13	米田	由美子
14	弘中	雅治
15		

13. 木屋川中		
	委員名	
1	村上 豊美	
2	下本 一公	
3	三原 達郎	
4	平原 栄一	
5	西村 博伸	
6	林 奈津美	
7	富士本 武明	
8	平松 繁泰	
9	安村 結香	
10	長谷川 勝巳	
11	吉永 克己	
12	打田 敦志	
13	原田 耕一郎	
14	長谷川 恵理	
15	三奈木 彰人	

14. 内日中		
	委員名	
1	下田 賢吾	
2	福地 正美	
3	三好 眞理子	
4	亀地 好浩	
5	藤岡 千鶴	
6	楯田 健二	
7	濱野 愛華	
8	町田 政也	
9	大羽 香矢子	
10	榎野 克己	
11	益本 敏和	
12	大賀 敏和	
13	鍵村 昌範	
14	戸田 宏純	
15		

15. 山の田中		
	委員名	
1	村尾 寛	
2	杉本 成弘	
3	三谷 勝治	
4	松井 眞一	
5	金田 眞基	
6	井上 幸子	
7	中村 博子	
8	大藺 京子	
9	恵良 健一郎	
10	近重 美和	
11	山本 智巳	
12	川口 哲郎	
13	波多野 敏郎	
14	磯崎 愛子	
15	中村 英樹	

16. 垢田中		
	委員名	
1	西川 裕之	
2	室田 秀典	
3	久保田 剛	
4	宮本 忠則	
5	壇 圭子	
6	小森 謙一	
7	久保 裕幸	
8	神田 哲	
9	松本 秀夫	
10	山本 香澄	
11	中川原 眞治	
12	村田 義則	
13	水津 健一	
14	阪本 正春	
15	小路 雅則	

17. 長成中		
	委員名	
1	友松 弘幸	
2	藤本 抄恵子	
3	平山 一美子	
4	森下 浩一	
5	河野 浩司	
6	森下 博幸	
7	山本 桂子	
8	森 健二	
9	山本 妙子	
10	村上 秀夫	
11	國司 和久子	
12	永瀬 裕佳	
13	森野 君佳	
14	倉本 敦	
15	安岡 克昌	

18. 菊川中		
	委員名	
1	徳吉 眞次	
2	前田 浩司	
3	酒井 好男	
4	森本 修司	
5	内田 正弘	
6	松井 茂喜	
7	井上 登代子	
8	國弘 由美子	
9	山口 知久	
10	田邊 雄二	
11	江星 美恵	
12	石川 彰	
13	藤本 義昭	
14	広松 貴代美	
15	川路 眞弘	

19. 豊田中		
	委員名	
1	竹永 寛	
2	内山 克久	
3	天野 かおり	
4	下村 浩昭	
5	木川 正守	
6	能井 一哉	
7	土井 隆行	
8	徳田 常夫	
9	安成 孝義	
10	貞野 隆史	
11	平原 隆治	
12	伊藤 宏朋	
13	高橋 敬和	
14		
15		

20. 豊洋中		
	委員名	
1	古田 研治	
2	三好 咲平	
3	矢田 友昭	
4	峯永 等	
5	渡邊 茂好	
6	森永 尚志	
7	中嶋 洋司	
8	山本 豊三	
9	市倉 栄治	
10	山崎 清高	
11	渡邊 眞	
12	後藤 良江	
13	中川 利文	
14	岡崎 翔	
15	松原 祐太	

21. 夢が丘中		
	委員名	
1	瀧中 裕	
2	木下 孝則	
3	永岡 裕子	
4	戸澤 昭夫	
5	林 透	
6	村岡 亜由子	
7	濱田 康伸	
8	藤村 高史	
9	高木 時江	
10	高瀬 利也	
11	岩田 章宏	
12	山崎 利幸	
13	白石 稔	
14	矢野 連太郎	
15		

22. 豊北中		
	委員名	
1	中村 信雄	
2	眞鍋 栄子	
3	吉田 眞次	
4	中嶋 吉幸	
5	和泉屋 紀之	
6	村田 美佐	
7	田中 義道	
8	永富 敬	
9	松尾 淳	
10	岸田 宏志	
11	末永 弥生	
12		
13		
14		
15		

<高校>		
1. 下関商業高校		
	委員名	
1	竹内 裕二	
2	河原 辰也	
3	三宅 靖	
4	和田 健資	
5	平野 貴昭	
6	脇木 忠臣	
7	富永 洋一	
8	加藤 修	
9	関本 和夫	
10	瀬下 信二	
11	平井 達也	
12	山本 徹	
13	池永 博文	
14	佐々木 猛	
15	久保田 力哉	

川中中学校敷地外における自動車損傷事故について

事故発生日時 令和3年4月16日（金）午後4時30分頃
事故発生場所 下関市立川中中学校正門前マンション駐車場
（下関市伊倉新町四丁目5番1号）
事故被害者 正門前マンション住民

事故内容 午後4時30分頃、軟式野球部の練習中、シートバッティングの打球が防球ネットを越えて、正門前マンション駐車場へ飛び込んだことを野球部員が確認。回収に行った際に付近の駐車車両を確認したところ、被害車両の屋根部分にボールの跡が付着していた。顧問が確認に行った際に、近隣住民の証言により所有者を特定したもの。なお、本事案は物損のみで人的被害はなし。

事故被害額 103,000円（修理見積金額）

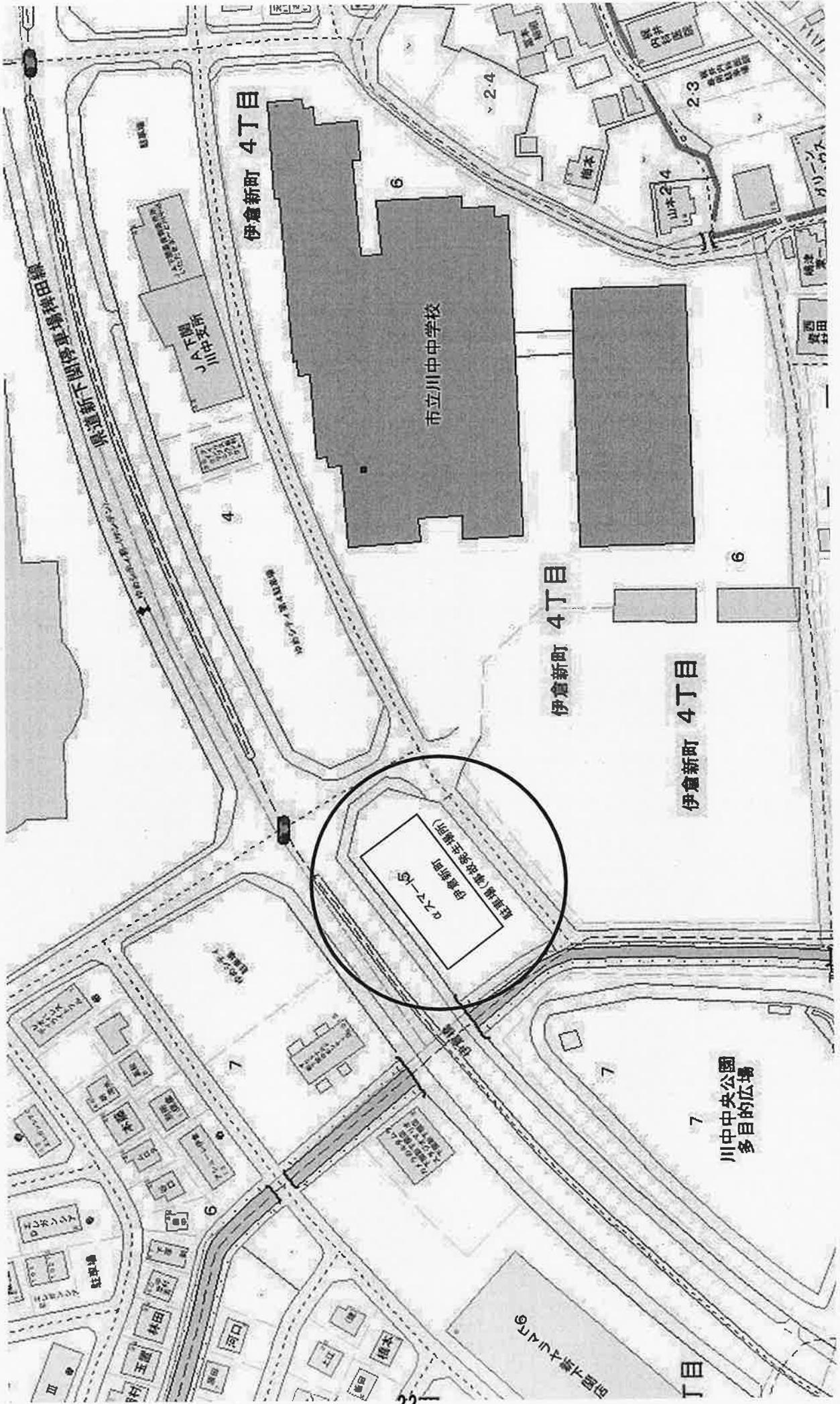
事故原因及び対策

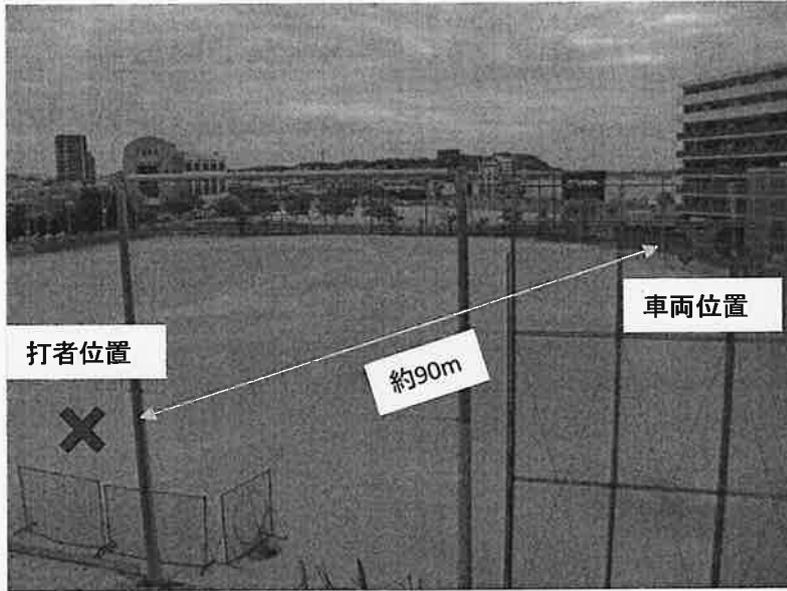
通常、シートバッティングでは防球ネットを越えるような打球とはならないが、今回は偶然、防球ネットを越えてしまったもの。

今後はバッティングを行う向き、角度を調整し、マンション方向へ打球が飛ばないように考慮し練習を行う。

今後の対応

下関市損害賠償審査委員会の審査可決後、被害者への損害賠償及び保険請求の手続きを行う予定である。





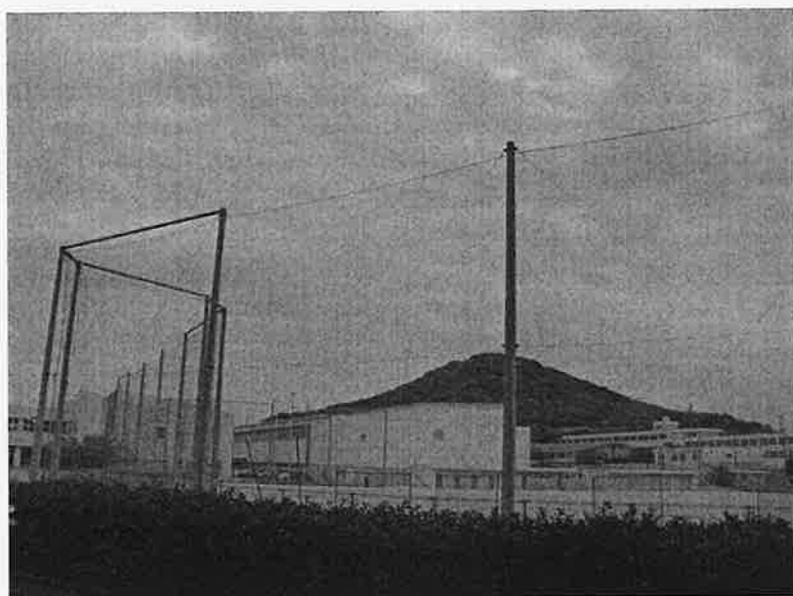
川中中学校
(全景)



川中中学校
(打者から見た図)



川中中学校
(マンション側から見た図)

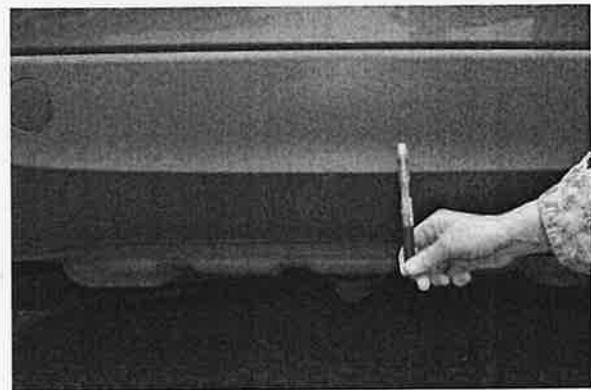
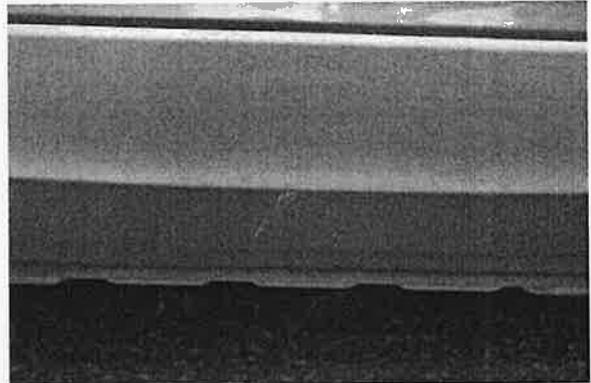


川中中学校
(防球ネット)

檜崎小学校敷地内における自動車損傷事故について

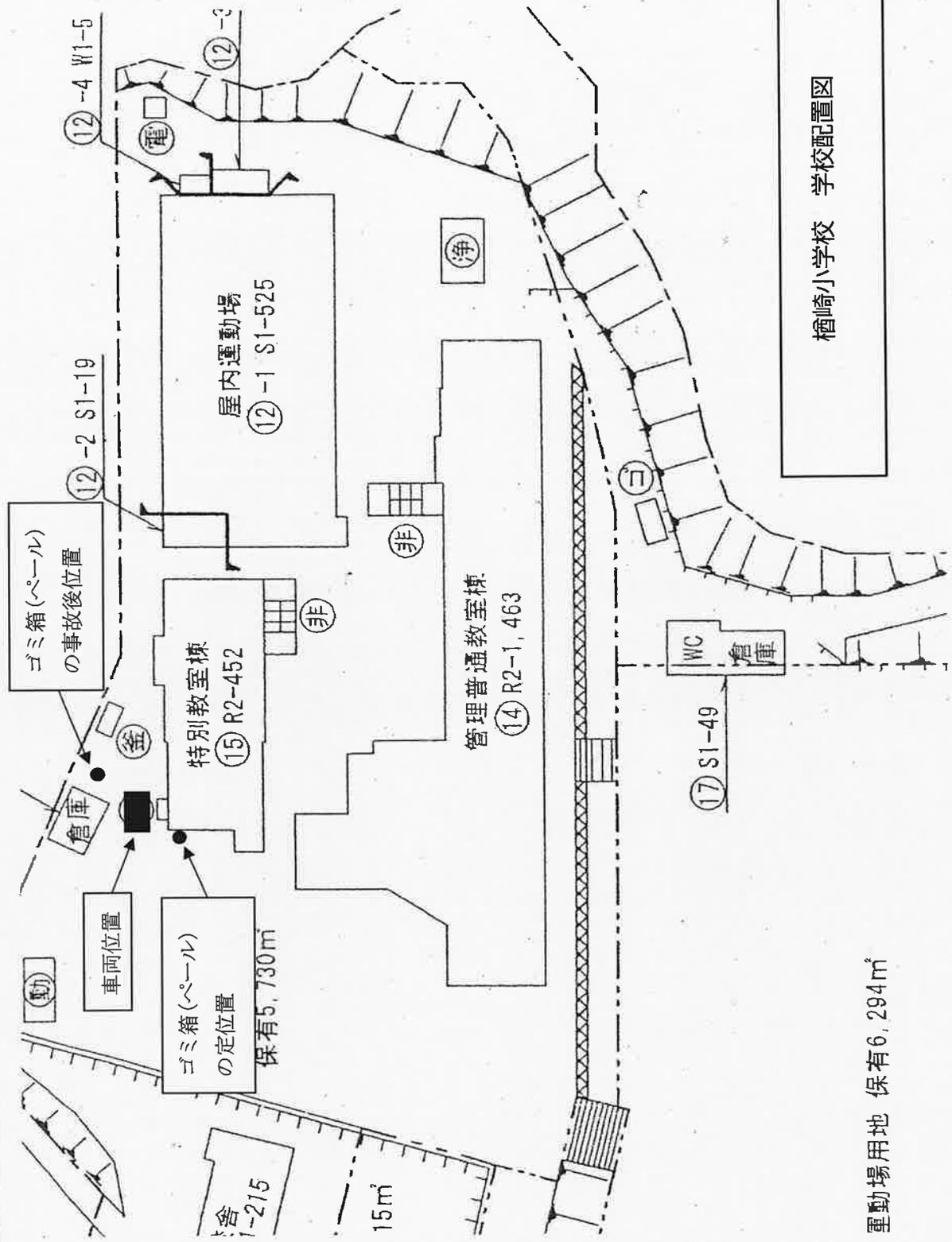
- 事故発生日時 令和3年5月21日（金）時間不明
- 事故発生場所 下関市立檜崎小学校
（下関市菊川町大字檜崎字殿屋敷215番地）
- 事故被害者 檜崎小学校給食調理員
- 事故内容 午後4時頃、被害者が退勤する際に、給食調理場付近に設置しているゴミ箱（円形ペール）が自家用車近くに転がっていたので、車を確認したところ、バンパーが傷ついていることに気づいたもの。なお、本事案は物損のみで人的被害はなし。
- 事故被害額 68,000円（修理見積金額）
- 事故原因及び対策
通常、ゴミ箱の蓋の上にブロックを置いていたものの、当日は8m近い強風であったため、ゴミ箱が風で飛ばされ車に接触したものと考えられる。
今後は、強風時にはゴミ箱を建物に括りつける等により再発防止に努める。
- 今後の対応
下関市損害賠償審査委員会の審査可決後、被害者への損害賠償及び保険請求の手続きを行う予定である。

○車の傷



○ゴミ箱





榑崎小学校 学校配置図

運動場用地 保有6,294㎡

■下関市学校給食調理等業務委託事業に係る優先交渉権者の決定について

令和3年2月5日に告示を行った本事業について、6月4日付け企画提案書の提出があり、7月2日に開催した審査委員会にて審査した結果、優秀提案が選定され、優先交渉権者が決定しましたので、下記のとおり報告します。

記

1 提案者

- A社 ハーベストネクスト株式会社
 横浜市保土ヶ谷区岩間町二丁目120
 B社 広島アグリフードサービス株式会社
 広島市佐伯区石内東二丁目18-1

2 審査結果

	配点	A社	B社
技術評価点	800点	607.0点	646.0点
価格評価点	240点	240.0点	238.4点
総合評価点	1040点	847.0点	884.4点
順位		2位	1位

※各評価項目（別紙1）

3 優先交渉権者

- B社 広島アグリフードサービス株式会社

4 下関市学校給食調理等業務委託事業審査委員会（別紙2）

■得点集計表

	評価項目	総配点	A社	B社
技術評価	1 施設整備業務	200点	147点	162点
	2 維持管理業務	160点	121点	128点
	3 運営業務	240点	181点	196点
	4 開業準備	40点	32点	31点
	5 事業費	80点	62点	60点
	6 その他	80点	64点	69点
	小計	(1)	800点	607点
価格評価	(2)	240点	240点	238.4点
総合評価	(1) + (2)	1040点	847.0点	884.4点

■下関市学校給食調理等業務委託事業審査委員会

役職
下関市副市長
下関市総合政策部長
下関市保健部長 (代理 生活衛生課長)
下関市産業振興部長
税理士 (中国税理士会下関支部推薦)
下関市教育部長
下関市中学校長会会長
下関市小学校長会会長

報 告 事 項
令 和 3 年 7 月 28 日
文 化 財 保 護 課

令和3年度発掘速報展「掘ったほ！下関2021」の開催について

令和3年度考古博物館発掘速報展の開催について、下記のとおり報告いたします。

記

1. 名 称 令和3年度考古博物館発掘速報展
「掘ったほ！下関2021」
2. 内 容 令和2年度に実施した遺跡発掘調査の成果の他、考古博物館が近年取り組んでいる、デジタル写真から生成する三次元計測画像化の成果を、熊野権現山経塚出土品をモデルに紹介する。
※対象遺跡
・長門国府跡、長門国分寺跡
・小野地区「カツヤマクズレ伝承地」試掘調査
・上げ安岡遺跡
・安岡長久遺跡
・住吉神社遺跡
・有富中尾遺跡
・熊野権現山経塚
3. 会 期 令和3年7月31日（土）～9月26日（日）
月曜休館
4. 会 場 下関市立考古博物館 特別企画展示室
5. 関連行事 会期中の関連行事等
① 展示解説会
会期中の毎週金曜日 10:00～11:30、13:00～13:30
各回5名程度

② 文化財講座

【演題】「有富中尾遺跡の発掘調査成果—弥生～古墳時代集落の展開と終焉・中近世集団墓の形成と変遷—」

【講師】阿南翔悟（文化財保護課 副主任）

【開催日時】9月25日（土）10:30～12:00、14:00～15:30

【聴講料】300円

③ 夏の体験学習（8月）

・勾玉づくり教室（8月10日（火）・17日（火）・21日（土））

・土笛づくり教室（8月7日（土））

・竪穴住居模型づくり教室（8月12日（木）・26日（木））

・土器模様ペンダントづくり教室（8月28日（土））

※各教室 午前・午後2回開催 定員10名 参加料400円

④ 遺跡 de あーと 館内スケッチ大会

日時 8月11日（水）・18日（水） 10:00～12:00

対象 小学生以上（小学3年生以下保護者同伴）

参加費 無料

内容 展示室を開放したスケッチ大会
別室での色塗りも可

※ 10月開催予定の考古博物館アート展「遺跡 de あーと—表現しよう!古代のしものせき—」の作品公募イベントの一環として実施。

「#のすたる関門灯台 Instagram フォトコンテスト」の開催について

下記のとおり報告いたします。

記

1. 名 称 #のすたる関門灯台 Instagram フォトコンテスト
2. 内 容 日本遺産「関門“ノスタルジック”海峡～時の停車場、近代化の記憶～」の構成文化財である下関市の「六連島灯台」と北九州市の「部埼灯台」の重要文化財指定と両灯台の初点灯 150 周年を記念し、「#のすたる関門灯台 Instagram フォトコンテスト」を開催するもの。
3. 概 要
 - 主 催
 - 関門海峡日本遺産協議会
 - (事務局 下関市教育委員会教育部文化財保護課
 - 北九州市市民文化スポーツ局文化企画課)
 - 門司海上保安部
 - 応募対象
 - 部埼灯台または六連島灯台が写っている写真
 - 募集方法
 - ①Instagram 公式アカウント「@kanmon.nostalgic」フォロー
 - ②「#のすたる関門灯台」で投稿！
 - 募集期間
 - 2021(令和 3)年 7 月 21 日(水)～9 月 26 日(日)
 - 入賞審査
 - 両灯台の地元関係者、門司海上保安部、協議会にて審査。
 - 大賞ほか各賞計 10 点を審査選考し、灯台フレネルレンズで制作した記念品等豪華副賞を授与。
 - 結果発表
 - 10 月下旬
 - (関門海峡日本遺産協議会、門司海上保安部公式 HP にて発表)

国指定天然記念物「川棚のクスの森」関連倒木の発生について

国指定天然記念物「川棚のクスの森」関連倒木の発生について、下記のとおり報告します。

記

1 「川棚のクスの森」の概要

所在地：下関市豊浦町大字川棚下小野

国指定天然記念物：大正11年（1922年）10月12日指定

推定樹齢：1,000年、樹高：21m、目高幹周：9.5m

現状：平成29年（2017年）7月、クスノキの樹勢の深刻な衰退が発見され、以降長期的な視点で樹勢回復に向けて取り組みを進めている。

2 倒木発生日時

令和3年7月4日（日）～5日（月）の間に発生したものと推測される。

令和3年7月6日（火）午前中 近隣住民からの情報提供により現地確認。

3 倒木発生の状況

○倒木樹木

- ・ウラジロガシ（樹高：約26m 胸高直径：約0.8m）

※国指定天然記念物指定対象外

○樹生の位置と樹勢

- ・国指定天然記念物「川棚のクスの森」指定地内の、クスノキ主幹と西方の通称飛び枝の中間部に樹生。
- ・クスノキ主幹と飛び枝の合間を縫うように西北側に枝を伸ばす樹形を形成。

○倒木状況の確認

- ・令和3年7月7日（水）午後、山口県樹木医会、文化財保護課、豊浦教育支所による状況確認作業を実施。
- ・倒木は主幹の根本で折損し、クスノキの主幹及び飛び枝に一切接触することなく、北西側に倒れていた。
- ・倒木も、クスの森の外周に設置した安全対策用の立入禁止のフェンス内で収まったため人的被害もなく、今後の追加的な安全対策は特に必要ない。

- ・主幹中央部の腐朽菌による空洞化が顕著に認められた。
- ・クスノキ主幹側に当たる東側根系は、樹木の規模に比べ非常に貧弱であった。

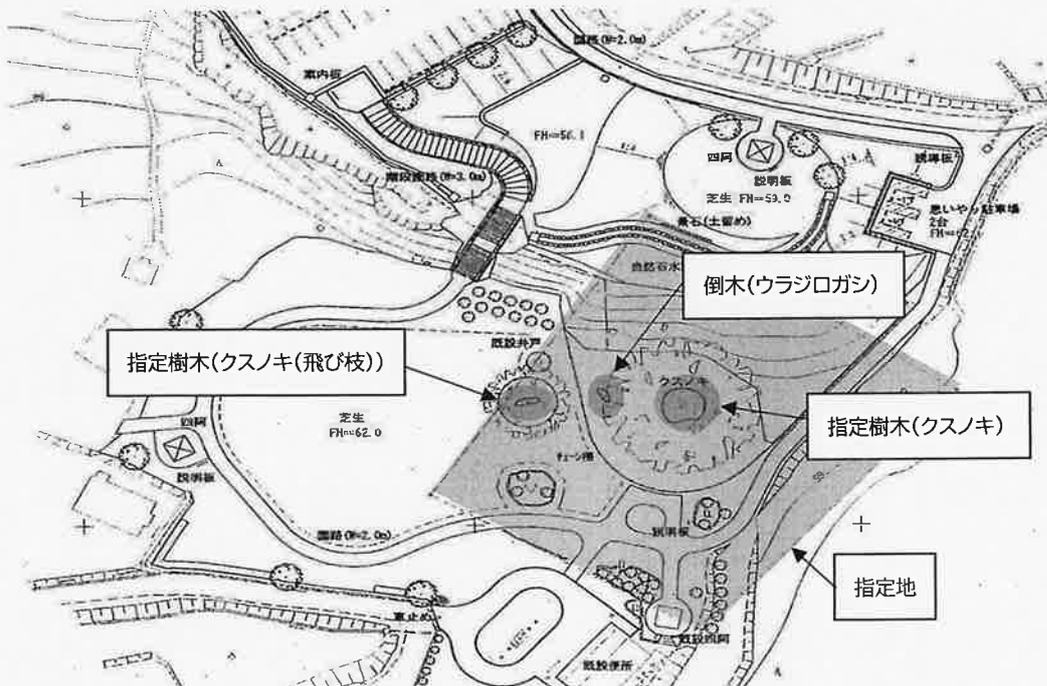
○倒木の原因等に関する有識者所見

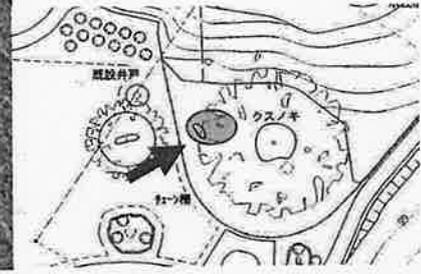
- ・根株腐朽は以前から進行していたが、樹勢回復の工法である水圧穿孔により細根が増え、葉量も増え、それによって風荷重が大きくなった。対して支持根となる太い根の形成には何十年もかかるため増えていない。このことから倒れた可能性がある。※全国各地で、樹勢回復後に倒れる事例の報告あり。
- ・幹の肥大成長やあて材が成長してくれる前に、枝葉が多くなり自重に耐え切れなかったと推測される。
- ・クスの森のクスは、とりあえず順調に回復している様子が伺える。
- ・今後クスノキの枯れ枝が頻繁に落下することが想定されるため、その対策の検討が必要。

4 今後の対応

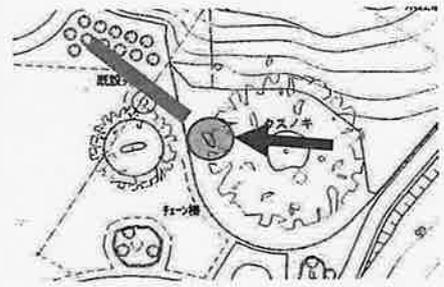
- ・倒木の早期の撤去を実施⇒7月16日(金)に撤去作業を完了
- ・倒木がもたらす日照や風当たり等の環境変化が、クスノキの樹勢回復にどの程度影響するか注意する必要がある、これまで以上に慎重に経過観察を実施する必要がある。
- ・今後風当たりが強まることによる、クスノキの枯死した幹枝の予期せぬ折損が問題となる。コロナ禍により有識者を含めた計画剪定の議論・検討が足踏み状態となっていることから、今回の毀損を契機に、改めて方策を検討する必要がある。

【ウラジロガシ 倒木発生場所位置図】

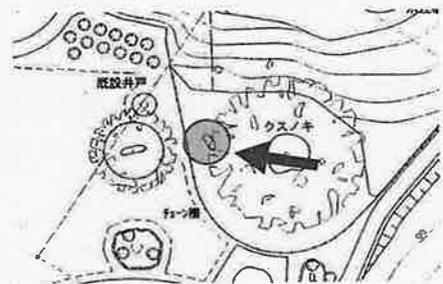




転倒状況



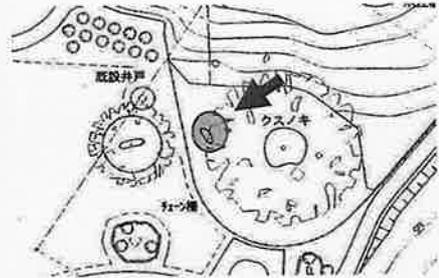
転倒状況(根系部)



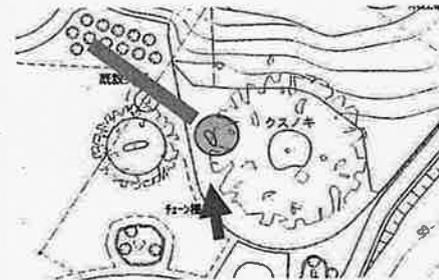
根系部状況



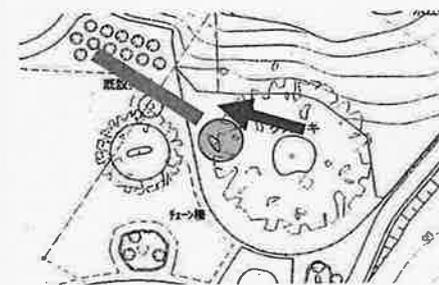
折損部空洞化状況

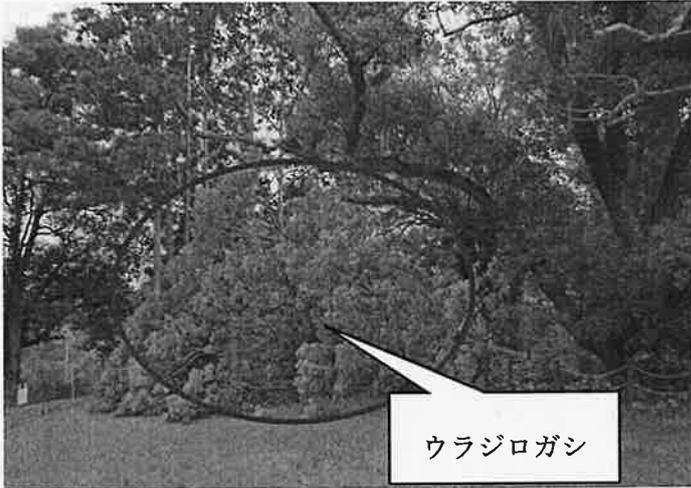


転倒状況

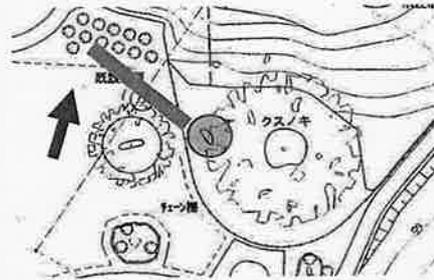


転倒状況(枝先)

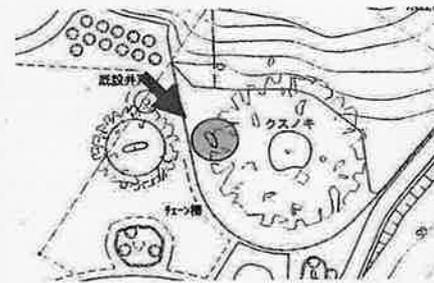




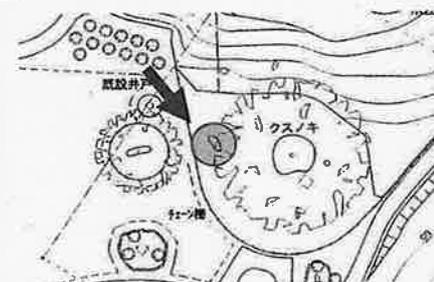
転倒状況(枝先)



転倒前 210522 樹勢状況



転倒前 210522 樹勢状況



撤去前



クスノキ

ウラジログシ



撤去後

